

おはようございます。毎週の「聖書預言・アップデート」へようこそ。日曜日の朝は、2つの礼拝を行っていて、第一礼拝は「聖書預言・アップデート」第二礼拝はこの後ですが、節ごとの「聖書の学び」です。内容は、後ほどお分かりいただけますが、皆さんに「何がもうすぐ来ようとしているのか？」についてお話ししたいと思います。しかしそれ以上に重要なのは、「誰が来られるのか？」です。ネタばれです。イエスがもうすぐ来られます。そうなんです。事実、それが因みにこれらの「聖書預言・アップデート」の目的であり、まだ時間がある内に、出来るだけ多くの人々を、出来るだけ早くイエスを人々に近づける、人々をイエスに近づける事です。彼が来られるからです。実際、患難時代の全世界に間もなく何が起こるのかという事実のおかげで私たちは、患難時代よりも前に、携挙によりもっと早くイエスが来られるのを”知る”（キーワード）ことができます。それについて説明させてください。私たちがこんにち目にして

いる事は、今でさえ世界で起こっている全てのことを実現し始めています。最終的には、7年の患難時代

の間にその預言的成就が見いだされることとなります。しかし、今起こっているのです。ですからこれは、イエスが仰ったことなのです。「ルカの福音書2 1章2 8節」に記されています。

「これらのことが起こり”始め”たら（キーワード）、身を起こし、頭を上げなさい。なぜでしょうか？なぜなら、あなたがたの贖いが近づいているからです。」

言い換えると、こんにち私たちが目にしてしていることは、まさに聖書の中で起こると語られていることで、私たちが7年間の患難時代として知っている、人類歴史の最後の7年に成就していくことなのです。しかしそれが既に始まっているのです。それはどういう意味でしょうか？それが意味するのは、携挙は、7年間の患難時代前に起こらねばならないため、私たちが今日にしている、7年間の患難時代に起こる事よりもさらに、ずっと早くなる筈だという事です。再度、主だけが御出来になられる通り、この数週間がそうだったように、今日の節ごとの「聖書の学び」は、「続けていることを続ける」と題していますが、今日の「聖書預言・アップデート」に結びついています。皆さん、ご参加されるのをお勧めします。オンラインの方、ハワイ時間1 1時1 5分からライブ配信します。それが第二礼拝で、節ごとの「聖書の学び」です。先週「テモテへの手紙第二」を学び終えました。今日は「テトスへの手紙」を始めます。使徒パウロがテトスへ手紙を書いていて、最初の3節で彼は、どうやって、またなぜ最後まで、言葉にならないほどの苦難に耐えられたのか、その疑問に答えています。そしてその中に、この終わりの時の私たちへの励ましがあると信じます。それが第二礼拝です。もしよろしければ、本題に入る前に少し、jdfarag.org サイトについてのアップデートをお伝えしたいと思います。繰り返しになりますが、皆さんのご忍耐に感謝します。またもっと大事なものは、私たちへのお祈りに感謝します。どうかどうか、引き続きお祈りくださいますように。私たちの素晴らしいチームが最善を尽くして、進捗状況をお伝えするのにワクワクします。まず、新サイトのライブ配信についてです。画面のように、ホームページの左下に ”聖書預言ライブ配信を見る”という表示があるので、選んでください。今 YouTube でご覧の方は、ホームページに行くと、この動画のライブ配信がご覧いただけます。実際、YouTube か Facebook かでご覧の方は、最初からサイトへに行かれるのをお勧めします。サイトでは、中断されることがありませんので、完全版「預言・アップデート」をご覧になれます。ソーシャルメディア上のライブ配信は、イントロダクションだけを配信しています。次に、一旦ライブ配信が終了したら、出来る限り早くアップロードする「預言・アップデート」のオンデマンド動画に注目ください。再度、皆さんのご忍耐に感謝します。このライブ配

信が一旦終了したら、私たちは今日の「預言・アップデート」完全版動画をアップロードするのです。少し時間がかかるかもしれませんが、繰り返ししますが、皆様のご忍耐に感謝します。一時間程度の時間を頂ければと思います。その後、この画面の通りホームページトップにある「聖書預言・アップデート動画 /PROPHECY VIDS」を選択してください。すると「聖書預言・アップデート」ページに入り、画面の通り「聖書預言・アップデート」をお選びいただけます画面の通り、例えば、先週2月14日の「分裂と征服」という題名の預言アップを選ぶと、選んだ「預言・アップデート」の動画へ進みます。そうすると”共有/Share”、”ダウンロード”、”字幕”、の表示が出ます。”字幕”に関しては、ご忍耐に感謝ですが、作業にもう数日要します。字幕は、聴覚障害者の方用に、完全別動画に焼きつけないといけなからです。これは先週の預言アップですが、これについても、もう数日お待ちください。しかしこのオプションがもう出来上がります。そして預言・アップデートの”文書版（文字起こし） /Transcript”についてです。私たちには素晴らしいチームがあり、彼らは天に宝を積んでいます。預言・アップデートの文字から文字への書き起こし、PDF ファイル形式文書が、クリックしていただくと、預言アップの文書版としてダウンロードしていただけます。繰り返しますが、可能になるまでもう少しお時間をいただけますように。預言・アップデートを参照するリンクがあるので、それをクリックするだけです。説明文（概要欄）についても同様です。私たちは、これに関して懸命に作業しています。再度、皆様のご忍耐に感謝します最後に一つ、宜しければ、まだ本題を始めていないのにもう既に”最後に一つ”と言ってしまっていますね。でも大変重要です。実は、皆様ご注目いただきたいのはソーシャルメディアに、私たちの偽（なりすまし）がまだいます。さらに悪質になっています。画面は、直近の Facebook の偽アカウントの写真です。私たちの写真・情報を使い、Facebook のフォロワーを騙そうとしています。毎週の Youtube に関して、私の写真や名前を使う偽 Youtube チャンネルがあります。彼らは人々を騙そうとして、孤児院のためにと当然ながら、お金を要求する詐欺を働いています。それが偽（フェイク）だと分かる方法をお知らせします。このフェイクアカウントがしているような、誰かにメッセージを送るという事を、私たちは決してしていません。引用すると「メッセージを送ってね。」というメッセージです。私たちは決してそういうことはしません。また私たちが、お金を要求することも、決してあり得ません。事実、オンラインメンバーのために言いますが、ここでは献納も受け取りません。よろしいですね。出口のところに献金・献納用の箱が置いてあるだけです。ですから、そういう人たちが詐欺であるのをご理解ください。そして、はい最後に一つ、まだ預言・アップデートが始まっていませんが、別の”最後に一つ”です。これらの人たちのために祈ってください。彼らは、イエスが必要です。彼らは、イエスが必要です。彼らが救われるようお祈りください。それでは、本題に入りましょう。いつも通り、神の御言葉から始めます。堅固な土台の基礎を確立するために、このようにしています。いつも通り、私が言っていることが本当かどうか、ご自分で聖書をしっかり調べられるのをお勧めします。これは「[使徒の働き 17章 11節](#)」です。

[「この町のユダヤ人は、テサロニケにいる者たちよりも素直で、（その理由は）非常に熱心にみことばを受け入れ、はたして（パウロが言っている事が）その通りかどうか、毎日聖書を調べた。」（使徒 17:11）](#)

ありがたいことに、私たちには、ここ地元にもオンラインにも多くのベリア人がおられます。まさにこの通りを、先週の私の説教「第二テモテ」に関して、私を正してくださいました。皆さん、それが何なのか知りたいでしょう。今は言いませんよ。第二礼拝にご参加くだされば全部お話しします。とても皮肉な話ですけども。ベリア人が正して下さったので、大変感謝しています。それでは、第一に皆さんがご心配されるので、今日見ていく聖句への前置きをしたいと思います。これに関して、私の心をお聞きいただき

いと思います。どうか最後までお聞きください。それは、全世界にまもなく何がやって来るのかに関連し、世界で起きていることの重厚さと深刻さに関することです。だからこそ大胆に、恐れ知らずに、しかし愛を込めて真実を語り、メッセージに対する人の応答や反応にも拘わらず、警鐘を鳴らすことが私の責任なのです。最近主は、エレミヤ書から私を導いてくださいました。「**エレミヤ書1章8～9節**」神がエレミヤを召される場面の記述です。

「**彼らの顔を恐れるな。わたしがあなたとともにいて、あなたを救い出すからだ。－主のことば。**」(8節)
「**そのとき主は御手を伸ばし、私の口に触れられた。主は私に言われた。『見よ、わたしは、わたしのことばをあなたの口に与えた。』**」(9節)

なぜ私はこれを共有するのでしょうか？ 理由は、告白しなければならぬのは、もし私がそれをしなかったら、不誠実で、良くても不正直になってしまうからです。しかし正直に言うと、この1年間に特にこのことで、本当に非常に激しく悩んだことが実際に何度もありました。ほとんどの人が、悲観的な見通しという大義の下、それを聞きたくないのを知りながらも、私が大胆に、しかし愛情を持って、不人気な神の預言的な言葉を説き、教えるという意味です。私の奮闘はこれです。反発されたくないから、自分が尻込みするなら、反発されるのを望んでいません。そんなこと全く楽しめません。反発はいつも起こり得ます。しかし私が尻込みすれば、自分に血の責任がありながら、神の御前に立つことになるのを分かっています。「**エゼキエル書33章7～9節**」

「**人の子よ、わたしはあなたをイスラエルの家の見張りとした。あなたは、わたしの口からことばを聞くとき、わたしに代わって彼らに警告を与えよ。**」(7節)

「**わたしが悪しき者に『悪しき者よ、あなたは必ず死ぬ』と言うとき、もし、あなたがその悪しき者に、その道から離れるように警告しないなら、その悪しき者は自分の咎のゆえに死ぬ。そして、わたしは彼の血の責任をあなたに問う。』**」(8節)

「**あなたが、悪しき者にその道から立ち返るよう警告しても、彼がその道から立ち返らないなら、彼は自分の咎のゆえに死ななければならない。しかし、あなたは自分のいのちを救うことになる。』**」(9節)

正直なところ、利己的な動機があると言えますね。私は誰の血の責任も負いたくないし、自分の命を救いたいです。神の御前で弁明したくありません。そしてもっとも恐れていることの一つは、その日、誰かにこう言われることです。「なぜ私に何も言ってくれなかったのですか？」「なぜ私に話してくれなかったのですか？」「私をそれほど愛していなかったのですか？」「私に警告してくれるほどには、気にかけていていなかったのですか？」だからこそ、警告のラッパを鳴らして、何が起ころうとしているのかを警告しなければならぬのです。これが問題です。むしろ私は、私たちが思っていたほど、早く起こらないから警告しないのではなく、思っているよりも早くそれが来ることに備え、警告のラッパを鳴らします私は、こんにち世界で起こっていることはすべて、教会携挙という主のまもなくの来臨を指し示していると、人生の中でこれまでにないほど心の底から信じています。なぜなら私たちは既に、7年の患難時代に成就することを目にしてきているからです。この前置きを持って、私たちがどれほど近づいているのか理解するのに、密接に関連する聖句を見て行きたいと思います。「**ヨハネの黙示録1章1～3節**」から読み始めたいと思います。

「**イエス・キリストの黙示。神はすぐにおこるべきことを(ヨハネに話しておられます。)しもべたちに示すため、これをキリストに与えられた。そしてキリストは、御使いを遣わして、これをしもべ“ヨハネ”に告げられた。』**」(1節)

「ヨハネは、神のことばとイエス・キリストの証し、すなわち、自分が見たすべてのことを証した。」(2節)

そして3節が、大変興味深いです。3節が私たちに語っているのは、聖書の全書を通して「ヨハネの黙示録」だけが、それを読む者、聞く者、心に留める者に祝福を約束していることです。そして悲しいことに、クリスチャンに聖書の中で、最も読まれていない書の一つです。3節、

「この預言のことばを朗読する者と、それを聞いて、そこに書かれていることを守る者たちは、幸いである。なぜでしょうか？ 尋ねてくださり嬉しいです。時が近づいているからである。」(3節)

最後の章に行きましょう。聖書の最後の書の最後の章のことです。「ヨハネの黙示録22章」です。

私は、この聖書のページを見ながら牧師の心への祝福を聞くのが大好きです。オンラインの方、先に見ておられるのが分かりますよ。6節、

「御使いは私に言った。『これらのことばは真実であり、信頼できます。』預言者たちに霊を授ける神である主は、御使いを遣わして、”すぐに”起こるべきことをしもべたちに示された。」

「見よ、”わたしはすぐに来る。”この書の預言のことばを守る者は幸いである。」(7節)

「ヨハネの黙示録3章」この聖句をよく参照しますが、7つの教会の1つフィラデルフィアにある教会宛の手紙です。ヨハネが手紙を書いています。10節、

「あなたは忍耐についてのわたしのことばを守ったので、地上に住む者たちを試みるために(原文と同じ言葉です。)全世界に来ようとしている試練の時(7年間の患難時代)には、わたしもあなたを守る。」

そして11節で彼はこう仰います。

「わたしはすぐに来る。あなたは、自分の冠をだれにも奪われないように、持っている者をしっかり保ちなさい。」

黙示録16章15節

「一見よ、わたしは盗人のように来る。裸で歩き回って、恥ずかしい姿を人々にみられることのないように、目を覚まして衣を着ている者は幸いである一」

使徒パウロが「第一テサロニケ5章1～2節」でこれを繰り返し強調しています。

「兄弟たち。その時と時期については、あなたがたに書き送る必要はありません。」(1節)

「主の日は、盗人が夜やって来るように来ることを、あなたがた自身よく知っているからです。」(2節)

これについて一緒に考えてください。どのように盗人が夜やって来るのでしょうか？ 思いがけない時ですよ？ 盗人が、こんなメッセージやEメールや電話で連絡してくるはずありませんよね。

「あの～伺って押し入りますけど、午前2時で都合は良いですか？」それはありません。馬鹿げた例えであるのは分かっていますが、私には最善の描写です皆さん、もしもっと良い例えがあれば、是非教えてください。しかし、それが主の仰っている事で、パウロがここで強調している事なのです。それが、どのように主が来られるか、なのですそれは、皆さんが考え付かないような、思いがけない時です。もし考えるときなのであれば、テサロニケの信徒たちは、パウロにこのことを説明する必要はないとさえ言われていました。このことを書く必要はないとさえ言われていました。なぜなら、あなたがたはこれを知っているから。何を知っているのでしょうか？

「主の日は、盗人が夜やって来るように来ることを、あなたがた自身よく知っているからです。」(2節)

つまり主は、人々が思ってもいないときに来られるという事です。人々には思いがけない時ですが、あなたがたには違います。なぜならあなたがたは知っていて、彼の来臨を待っているからです。それが、皆さ

んが準備する理由です。それが、皆さんが目覚ましておく理由です。それが、皆さんが目を開けておく理由です。それが、皆さんが見張っておく理由です。踏み込んで言いますと「第二テモテ」を参照しますが、パウロは、彼の残された日数が僅かであることを分かりながら、こう言っています。

「私は勇敢に戦い抜き、走るべき道のりを走り終え、信仰を守り通しました。」(第二テモテ 4:7)

「あとは、義の栄冠がわたしのために用意されているだけです私だけでなく、主の現れをしたい求めている (あえて言えば、待ち焦がれている) 人にはだれにでも授けてくださるのです。」(第二テモテ 4:8)

敢えて言うなら、今日おられる多くの方が、またオンラインの多くの方も見ておられます。皆さんにとって、特に今、何が起きているのか。主が来られることを待ちきれません。主よ、早く来てください。

「ローマ人への手紙 1 3章 1 1 節」使徒パウロが、聖霊によって、ローマの教会へ手紙を書いています。

「さらにあなたがたは、今がどのような時であるか知っています。あなたがたが眠りからさめるべき時刻が、もう来ているのです。その理由は、私たちが信じたときよりも、今は救いをもっと私たちに近づいているのですから。」

これは 2000 年前、聖霊によってパウロがローマの教会にこれらの言葉を書きました。私たちの救いが大変近づいています。それは私が信じるよりも、私を含めた誰もが想像しうるよりもずっと近いのです。これらの聖句を持って、ここで核心です。本当に多くがそれを現わしています。

すべてが、どれだけ早く予想外のことが起こるかを語っていますこういう質問を提起してみて、私たちがその質問に答えたいと思います。私が提起するとおりに、一緒にお考え下さい。去年だけで何が起こったのか考えてみてください。もう 2021 年 2 月末になろうとしています。2020 年 2 月に巻き戻しましょう。もう着きましたか？ (巻き戻されましたか?) 待っています。到着したら知らせてください。これについて考えてみてください。昨年今頃以降、どれだけのこと起こっていますか？ 昨年今頃以降、どれだけ速さで、あらゆる事が起こっていますか？ それに加えてもう一つ。昨年今頃以降、どれだけ色んなことが変わりましたか？ 私たちは、12カ月のスパンについて話しています。ここで私の提起する質問です。もしそうやって、あらゆることがあつという間に起こったのなら、去年今頃以降、どれだけあらゆることが変わったのなら、今から起ころうとしている事は？ この先の数ヶ月、数週間に、どれだけ速さでそれがやってくるのでしょうか？ では今日は、その質問に答えます。この時点で、ライブ配信を一旦終了します。まだ見ておられない方は、jdfarag.org で完全版の続きをご覧ください。

本編

私が皆さんに、前述の「何が来るのか」という問いに対する答えは、すぐに起こるというだけでなく、既にここにあると言ったらどうでしょうか？ ここに既に何がありますか？

さて、繰り返しになりますが、既にここにある事は、まさに 7 年の患難時代に起こると言われているものです。つまり全世界の人口を追跡し、制限し、支配/コントロールするための、技術/テクノロジーです。さらに具体的に言えば、追跡、コントロールし、刻印・しるしまたはパスを持っていない人を基本的な必需品の購入や開業、就業継続、旅行などその他のことから制限することです。まずは、家内が送ってくれたハワイ KITV ローカルニュースの記事から始めます。家内が送ってくれた理由は、私がハワイのローカルニュースを見なくなったからです。無礼を言っているのではありません。どうしても見れないのです。血圧の問題なんです、とにかく、、、(笑) 実はもう全国ニュースも見ません全てがプログラミング

ですからところで、今私が言ったことを疑われるのであれば、テレビを見ると、どれだけムカつくか考えてみてください。もちろんこの点をもう一步踏み込んで言いましょ。ある日家内がこう言いました。

「アーミッシュに、コロナ感染がない理由が分かる？彼らはテレビを見ないからよ。」－(笑)－ その点について、ここで置いておきます。－(笑)－ 十分分かりますよね？ もう一つ言います。いいですよ？ 彼女が聞いていたポッドキャストの一部をシェアしてくれていたのですが、彼らがこんなことを言っていました。自動車事故による死亡者数を毎日のように報道していたら、私たちは、絶対に車に乗らないと言っていました。それを考えてみてください。はい、それは私の話なので、そういうことにしておきます。ということで、地元のニュース記事に戻り、この記事引用したいと思います。「州は、COVID-19/コロナの陰性の検査結果とワクチン接種量を証明するテクノロジーを利用したヘルスパス システムを設定。そうすれば旅行先でも個人情報の保持が可能。」ああ～そうですね。「ハワイは、"クリアー"という会社とパイロットプログラムを実施し、非営利組織コモンズプロジェクト財団と協議中。そのCEOはKITVにインタビューを受けた。」CEOのポール・マイヤー氏の言葉を引用します。「航空会社には、それらの証明を精査する義務があります。はい。どういう意味かと言うと、みんなが時間のかかるチケットカウンターに行かなければならないので、社会的距離感から考えても基本的にリスクを減らす理由では散々たるものです。人々に、空港で長蛇の列に並び、検査官に書類を渡して精査させると言うのでしょうか。」お～興味深いですね。ほ～ 引用を続けます。「ですから、航空会社がこの模範に非常に熱心な理由の一部は、人々がオンラインでチェックインできるようにしたいということです。それは、実際に検査結果または、(お聞きください。)"最終的に"ワクチン接種記録のデジタルコピーをアップロードし、デジタルで読み取れます。そしてオンラインでのチェックイン許可が可能となり、繰り返しますが、空港でお待たせする必要がなくなります。検査を受けた方、あるいは(ここで再び)"最終的に"ワクチン接種された方であれば、私たちは、安心して再開できると考えます。しかし、その検査結果やワクチン接種の信用性が不明な場合、適切に旅行再開を可能にする政策を講じることが難しくなります。しかし、それでも国民の健康を守ることは可能です。」とマイヤー氏は述べた。記事の引用を続けます。

「ジョシュ・グリーン副知事は、"彼は、コンサート、スポーツイベント、結婚式、卒業式のような(誰にも言わないでください)大人数の集まりを可能にするため、旅行を超えた技術の応用を望んでいる"と述べた。"これは、イベントや私たちの州を開放するための方法であり、賢いやり方でそれをすれば、私たちは経済(そもそも意図的に潰して崩壊した)を回復させられます。"すみません()は、記事にはありません。"私たちは何の障害もなく経済を回復させますが、実際にはもっと早く通常に戻るでしょう。"グリーン副知事はそう語った。」－引用終了－

昨年、先の預言アップの準備の際、「CommonPass/コモンパス」について少し調べてみました。それが他にもない、世界経済フォーラムから発しているのを知りました。驚きはしませんよ。当時私は、検査からワクチン接種へ即移行する名目で、検査陰性の人用のパスになると気づきました。画面は、世界経済フォーラムのウェブサイトの掲載記事で、KITVがインタビューしたコモンズプロジェクト財団のCEOポール・マイヤー氏の動画のスクリーンショットです。この動画は、8月24日に投稿されました。彼の発言を引用します。

「CommonPass/コモンパスは、COVID/コロナ検査結果が陰性であっても、(ここで再度登場します)"最終的に"(まもなく、と言っているいいですか?)ワクチン接種し、人々が安全かつ確実に健康情報を収集できるようにするプラットフォームです。そして、その情報を管理し、自分でコントロールし、その情報

を使って陰性検査を受けたことを実証することができます。また、彼らはワクチン接種しているので、飛行機に乗ったり、海外旅行ができます。」これは、11月26日に報道された Arutz Sheva の非常に面白い見出しの記事と一致します。「"ワクチンは強制しないが、こうなります"」引用します。

「保健省のヘジー・レヴィ長官は、記者団にこう主張した。"ワクチン接種は強制ではない。イスラエルの法律では認められていない。"あ～やれやれ。早まらないでください。「特別クネセット・コロナウイルス委員会前の発言。医療センターの最高医療責任者兼最高イノベーション責任者の Eyal Zimlichman 博士は、移動の自由を取り戻す方法として、ワクチン接種における"人口操作"計画の対策を挙げた。」
そもそも私たちの自由を奪ったことが彼らの計画の一部です。「ワクチン遵守をどのように"動機づけるか"という問題は、マイク・サーノビッチのようなコメンテーターが次のように書いており、関心が高まっている。(まだ引用中です) 政府はワクチンを強制しない。アマゾンに強制する、航空会社や銀行は強制する。ワクチンなしでは誰も売買も取引もできない。」！！！！ これ引用なんです！！ リンクは下部にあります！！ この人たちは、「黙示録 13 章」を読んでいるのでしょうか？ あ～それをはっきりしてもらいたいものです。それがないと、売買・取引が出来ない？ 皆さん。いや。止めておきます。
「言うでしょ？ダメ！言わなきゃ！！」わかりました。では、昨年に時計を巻き戻し、昨年3月に戻りましょう。私は、色んな本の名前で呼ばれ、またこんな風に言ったことで、新しい名前も付けられ、呼ばれました。「さあいいよだ！」「牧師先生、あなたは道がそれています。」「あなたは正気を失っています。」私は最初から正気じゃないですから！「あなたは完全に陰謀に支配されています！」いいでしょう。いいでしょう。なんとでも構いません。皮肉ってるわけではありません。こう言ってもいいですか？一年前、私は皆さんにそう言いましたよね。これが向かっている先だと。そして今ここにいます。私は自分が正しいとか、正当性が欲しいのではなくて、主は私の心をご存知です。喜んでいるわけではありません。私を信じてください本当に。毎週、この説教壇に喜んで立つのが私の特権です。「神の祝福を！神があなたがたを愛しておられるんだから～みんなでハグしようぜ～」的には、私には出来ません。出来ません。「何もかもうまく行くよ！」預言者たちが「平和！平和！ここには何も問題ない。」と言う時を考えます。「落ち着いて、そのまま、家に帰ってください。そして食べて、飲んで、楽しんでください。」平和がないというのにイスラエルは、どうやらこの計画があったようで、人々のモチベーションを高め、インセンティブを与え、ワクチン接種するように仕向けています。大々的にうまく行っているのを見ると、皆さん驚かれるかもしれません。

画面は、1月18日、BBCが発表した「Our World In Data」のグラフで、ワクチン接種が最も多い10カ国の100人当たりのワクチン接種数を示したものです。イスラエルが世界をリードしているだけでなく、4位のアメリカよりもかなり高い数値です。なぜ私はこれを指摘するのでしょうか？理由は、イスラエルは、何度も厳格な封鎖を実施しており、移動の自由を取り戻すために、ワクチンの遵守に向けて住民を"操り、やる気を起こさせるため"にそうしてきました。そしてそれが功を奏しました。それが功を奏しました。先週火曜日、Times of Israel は、非常に示唆に富むタイトルの記事を掲載しました。"イスラエルが COVID「グリーンパス」の運用を計画し、偽造を防ぐ方法" i24 ニュースの今朝の報道です。これはある事例ですが、多くの活動は、ワクチン接種した人"だけ"が利用できるようにする意図であり グリーンパスでそれを証明するのです。記事を引用します。「街頭の店舗、モール、マーケット、博物館、図書館が、イスラエルの全国民に開放されます。しかし、ワクチン接種した人や COVID-19/コロナから回復

した人だけがジムを利用し、スポーツやカルチャーイベント、ホテル、プールなどに入ることができ、「グリーンパス」証明の提示をすればアクセスできるようになります。」「月曜日、コロナウイルスの取締官、ナハマン・アッシュはこう述べた。"イスラエル人は、証明としてアプリを使用しなければならない、または彼らの状態を証明するためバーコード化した証明書を印刷する必要がある。"」木曜日、ニューヨーク・タイムズ紙は、全掲載記事の中でも、非常に興味深いタイトルを冠した次の記事を発表しました。**"イスラエル再開に伴い、『予防接種を受けない者は、取り残される/Left Behind』"** (Left Behind/レフトビhind) 興味深い言葉を選んでいきますね。引用します。

「今週、ベンジャミン・ネタニヤフ内閣は、"社会的な距離保持とマスクの義務化を条件に"ショッピングモールや美術館を一般開放することを投票で決定した。数ヶ月ぶりに、ジムや文化・スポーツイベント、ホテルやプールも再開されるが、"しかし"一部に限定。」「飴と鞭、両方の機能を持つ新システム「グリーンバッジ」のもと、、、」(また別の興味深い言葉が選ばれていますね。) 飴と鞭：餌にするため、強要するため、モチベーションを上げるため、インセンティブを与えるため、操るため、エンジンをぶら下げる事。

「政府は、完全にワクチン接種した人か、回復した人"だけ"がレジャーに参加できるよう日曜日から開始。」ーそれは今日の事です。「2週間後には、レストランやイベントホール、会議などが、そのルールの下、営業許可される。お客様や参加者には、QRコード付きのワクチン接種証明書の携帯が必須条件。」もはや「書類を出してください！！(アラビア発音)」ではありません。失礼しました。本当にそうではなくなります。「QRコードを見せてください。(アラビア発音) 皆さんがよろしければ、こんな風にアラビア発音で話しますけど、気になるでしょうからやめておきます。気楽さを足さなければなりませんからね。笑わないと泣いてしまいます。ちなみにマジです。「"ワクチン接種は道徳的義務です。それは私たちの相互責任の一部です。"厚生大臣のユリ・エデルシュタイン氏はそう話した。彼はまた、新しいマントラを持っている。"ワクチン接種しない者は取り残される"イスラエル国内で渦巻いている議論は、世界の他の地域にも浸透しており、ワクチン接種済みの「グリーンパスポート」所持者のために海外旅行を予約する計画がある。イスラエル中央政府は、地域の取り組みによってこれを実行に移した。"感染症の新たな波を引き起こすことなく、第3次国家封鎖から国を解放したいと切望している。"国の封鎖規制に切り目。テルアビブ郊外バットヤム、労働者階級の屋内ショッピングモールは、先週、ワクチン接種やCOVID-19/コロナから回復したことを証明できるお客様向けに営業再開。カルミエルでは、市長が同様の決断をし、ガリラヤ北部の地元の町で営業再開を決定。彼のオフィスは、必要な2回のワクチン接種、または、ウイルスから回復したことを、全従業員に証明できる雇用主からの要請処理を開始。別の都市では、市長がワクチン接種していない教師を教室から追放し、一方一部のホテルに、ワクチン接種していない従業員を解雇すると脅した。」起ころうとしているのではなく、もう起こっています。引用を続けます。

「ペレド・ラズ博士の発言。"ウイルスに対するイスラエルの臨時非常事態法は、誰よりも公衆衛生従事者に対してが改正しやすい。理由は当然ながら、自分自身や患者に害を及ぼす可能性がある。"と付け加えた。」そしてまた彼はこう話した。引用します。

"看護師になりたいのに、ワクチン接種を受けないのですか？ ワクチン接種を受けるのか、他の職業を選ぶかだ。"」12月25日、イスラエル・HAYOMの記事から引用します。彼らは、こういう質問をしています。

"COVID/コロナワクチン接種、イスラエルの「グリーンパスポート」証明はどこへ向かっているのか？

"小見出しを読みます。「ワクチンを接種したイスラエル人は、死海やエイラトへの旅行、海外からの帰国

やコロナウイルス患者と接触した場合の強制検疫を免除され、文化施設訪問やスポーツイベントへの参加が可能。」ワクチン接種した場合だけです。記事の最後に、彼らは、情報部のイーライ・コーエン大臣の発言を引用しています。「これは企業にとって素晴らしいニュースであり、通常の生活に戻るための重要な起爆剤でもあります。」「"グリーンパスポート"プログラムの開始は、開業と経済活性化に向けた重要な一歩です。」「ワクチン接種を受けることが、人々に大きな（この言葉をお聞きください。）"インセンティブ"となります。」木曜日の朝、私はオフィスに座って、チャンネルを全てミュートにして画面を見ていました実際にはミュートでしか利用しません。ミュートを解除しようとしても、もう聴いてられないので、ミュートを解除することはないと思います。しかし、i24でこのスクリーンショットを見ました。イスラエルのニュース放送で、このセグメント/区分が、あ、いいですね。皆さん、分かりますか？ 私が言うまで待ってください。テルアビブのバーで、ワクチン注射で無料ビールを提供しています！！

「インセンティブ！ビールが飲みたい？ワクチン接種しないとね！」これは木曜日の朝ですが、その数時間後に同じ話の続きの放送を見ました。ご覧になって読んでください。皆さん既に見ておられますから。"テルアビブのバーは、無料の酒で、住民にワクチン接種を促す"ええ、何かしらのインセンティブがあります。記者が何と言ったかご存知ですか？ 私は驚嘆しました。"バーでは、接種(shot)すれば、無料アルコールショット(shot)を提供。"良く考えてみてください。一杯飲む(shot)のに、ワクチン接種(shot)するのです。どうでしょうか。またしてもこんな風に言うのをお許しいただきたいのですが、私にとって不可解なのは、人々が嘘を買うことです。このワクチンは安全で効果的だから、強要または強制されたりしてまで、接種しなければならないのですか？ ウイルスが致命的だと言われているから、感染しているかどうか検査してみなければならない？ 先週オンラインメンバーが、キャサリン・オースティン・フィッツとドロレス・ケーヒルの動画を送ってくださいました。どちらも以前の預言アップで引用したものです。この動画は12月のもので、世界自由連盟の会長マネカ・ヘレバーク氏のインタビューでした。何が続くかという、リンクがあるのですが、ところで、今が言うのにちょうどいいタイミングかもしれませんが。私たちが提供しているリンクを見ても、それがもうない場合、彼らがそれを削除したからです。これらのリンクを提供するために最善を尽くしますが、保証はありません。彼らは、ネット上の情報を全て洗い流しています。ドロレス・ケーヒルさんのインタビューから始まります。いくつか引用します。

「人々は強制されています。家から出られないと言われてたり、ワクチンを打たないと雇用や旅行ができないと言われてっています。私は、免疫学研究を20年してきました。私なら接種しません。家族の誰にも勧めません。私は自分のキャリアを賭け、この40年間で得た情報があります。RNAワクチンは、ワクチン接種計画の認可・認証がゼロなのです。皆無。私は、あなたに1千万ドル払うと言われても接種しない、と言っているのです。私ならまず刑務所に行きます。もし誰かが私にワクチンを打うつなら、殺人未遂で訴えます。」キャサリン・オースティン・フィッツさんが発言します。「これはすべて移行の一部であり、中央銀行家がやっていることは、中央制御のエンジニアリング、技術財務管理をエンジニアリングするために財務システムを利用しています。健康/ヘルス制限の多くは、その中央制御をエンジニアリングすることがすべてです。これは、権力と富の巨大な集中です。私たちの目の前にある重要な問題は、人間社会になるのか、非人間社会になるのか、です。私たちは、彼らに譲歩するのですか？ ですから今年は、中央銀行にとって、非常に厄介な移行の年になります。それは個々の選択と、誰もが自分自身の選択をすることにまで及びます。多くの人が、『クビになりたくないなら 応じるしかない』と言っているのを見ています。陰謀論者と見られていけないなら、この狂気の沙汰に同意しなければなりません。しかし、人々

は何かが間違っていることを分かっていると思います。人々は何が起こっているのか分かっていると思います。私たちに必要なのは、あなたが言うように、奮い立ち勇気を持つことです。これは狂気の沙汰です。マスクをして、安全でないワクチンを注射して、世界中の経済を崩壊させるなんて、正気の沙汰じゃありません。これは政治的なゲリラ奇襲です。」オーケー。皆さんそんな風に見ておられますが、私も bushwhacking の意味がわかりませんでした。"bushwhacking"の意味を調べてみました。攻撃、待ち伏せです。これでぐるっと回って初めに戻ります。もうすぐ起こる事が既にここにあり、そのために、誰がもうすぐ、まもなく来られるか、と言う問題です。個人的に、ワクチンが全員義務化になるのは時間の問題だと思っています。今要求されている「第一線の就労者」だけではありません。ちょうど昨日、医療関係の仕事をしているオンラインメンバーの方から、このスクリーンショット、通知の写真をメール頂きました。書いてある内容を引用します。「通常の状態に戻るために必要な予防措置を講じる。全従業員は、45 日以内に FDA 承認のワクチン接種を証明することを義務付ける。この要件を満たさない従業員は無給休暇となり、雇用が継続されるかどうかは人事部が決定する。」翻訳すると、ワクチン接種しないなら、食べ物も買えず、働けず、生計も立てられない。あなたの雇用は終了。終了です。それでは、こういう風に再度言わせていただきます。皆さん飽き飽きされないことを願います。こう言うことに飽き飽きされるなら、私は言い続けますので、皆さん本当にお疲れになるでしょうね。私は、イエス・キリストの教会携挙がもうそこまで来ているのを、心から信じています。私がそれを言わないなら、私は法医学的証拠からそう言っています。7年間の患難時代と、患難前携挙と言う健全な教義に関して、その法医学的証拠は聖書聖典であり聖書の裏付けです。そして今、この世で私たちが目にしている全てが、7年の患難時代に向けて、既に形になっていって、そして携挙が、患難時代前に起こらねばならないなら、私は皆さんにお聞きします。どれくらい私たちは近づいているのでしょうか。私たちは、これら（先ほどお話した）のために、ここにはいません。携挙前に、事態が非常に悪化しないと言うわけでもありません。間違いなく悪化するだろうし、多くの人がこの決断に直面することになるでしょう以前の預言アップ”決断の時”というタイトルの動画で、深く掘り下げた話をしてきました。（※Youtube に削除された動画です）私は、毎週の「聖書預言・アップデート」を15年間続けてきました。そして、言わなければならないのは、これが起こっていることで、現実だという以外に、何と言っているのかわかりません。これが私たちが「聖書預言・アップデート」を行う理由です。仮定の話はしません。あなたはこの教会に来ておられ、またあなたはオンラインで見ているかもしれません。私たちはあなたがおられることを喜んでいますが、もしイエスが来られれば、あなたは取り残されてしまうでしょう。先ほど見たワクチン接種のせいではありません。それはあなたが準備ができていなかったからです。イエスと正しい関係でなく、イエスが来られることに準備できていなかったからです。ですから私たちは毎週、福音、イエス・キリストの救いの良い知らせを共有するのです。

福音と言う言葉の意味は、「良い知らせ」です。あなたの負債・罰則は全額支払われた。あなたは自由に行ってよい。という意味です。それが良い知らせです。何の負債ですか？何の罰則ですか？ 死刑宣告です。イエスが、あなたのために、あなたの代わりに支払われました。イエスが来られ、十字架にかけられ、あなたのために死なれたからです。彼は葬られ、3日目によみがえられました。そして彼はいつか戻って来られます。もうまもなく。それが良い知らせです。それが福音です。

もうこれをやって、実際ほぼ3年になります。「救いのABC」という子どもにでも分かる救いの説明です。主が私に、これを始めるよう示唆されたのが、約3年前でした。私たちは、これをして本当に良か

ったです。大変シンプルな方法・救いの説明です。

A：自分が神に背いた罪びとであるのを、また自分には救い主が必要であると Admit/認める または、Acknowledge/認識する。

ローマ人への手紙 3 章 10 節にはこう書かれています。

「正しい者はいない。一人もいない。」

ローマ人への手紙 3 章 23 節がその理由を教えています。

「人は皆、罪を犯して神の栄光を受けられなくなっている。」

私たち誰しものが、生まれながらにして罪びとなのです。ですからイエスが仰るように、神の御国に入るためには新生しなければならないのです。ローマ人への手紙 6 章 23 節、これが興味深いのは、悪い知らせと良い知らせがセットになっていることです。悪い知らせとは？ ええ、大変悪い知らせです。死刑宣告です。私たち誰しものが死刑宣告を受けています。なぜでしょうか。

ローマ人への手紙 6 章 23 節

「罪の報酬は死です。」

それが悪い知らせです。そして良い知らせとは？ お～良い知らせとは、

「...しかし、神の賜物は私たちの主キリスト・イエスによる永遠の命です。」(ローマ 6:23)

贈り物なのです。エペソ人への手紙 2 章 8~9 節にこうあります。

「この恵みのゆえに、あなたがたは信仰によって救われたのです。それはあなたがたから出たことではなく、神の賜物です。行いによるものではありません。だれも誇るものがないためです。」(エペソ 2:8-9)

贈り物というのを考えてみてください。もしあなたが支払うなら、贈り物ではなく購入した物です。贈り物と言うのは、誰かが購入してくれてプレゼント下さる物ですよ？ 彼が購入されました。彼が購入されたのです彼がそれを全額支払われました。全てを犠牲にし、命を懸けて。彼が支払ってくださって、"永遠のいのち"という贈り物として差し出してくださっています。次が B です。非常にシンプルです。

B：あなたの心で、イエス・キリストが主であると神がイエスを死からよみがえらせたことを、Believe/信じる。ローマ人への手紙 10 章 9-10 節、

「心で神がイエスを死者の中から復活させられたと信じるなら、あなたは"救われる"からです。」(ローマ 10:9)

これについては第二礼拝の「テトスへの手紙」で、もっと詳しくお話します。使徒ヨハネが言うように、知っていることの保証。あなたに永遠のいのちがあるのを"知る"ことが出来ます。決定事項なのです。

陪審員はもういません。評決は出ています。『あなたは救われます。』

最後に C です。C：主の御名を Call/呼び求める、Confess/告白する。再度、ローマ人への手紙 10 章 9-10 節、

「口でイエスは主であると公に言い表わし (confess)、心で神がイエスを死者の中から復活させられたと信じるなら、あなたは救われるからです。」(ローマ 10:9)

「実に、人は心で信じて義とされ、口で公に言い表して救われるのです。」(ローマ 10:10)

最後に、ローマ人への手紙 10 章 13 節です。決定打です。

『主の名を呼び求める者は誰でも救われる。』(ローマ 10:13)

もう一度お願いします。携挙が差し迫っていることを、しょっちゅう話しているのは分かっています。

しかし、あなたにもし、携挙前に早すぎる死があったとしたらどうでしょうか？ 憂鬱に聞こえるならお許しください。でも再度、それは本当です。本当です実はこれは数年前、ジャン・マーケルさんのカンファレンスでの出来事です。あるオンラインメンバーからの感動的な証を紹介したいので、もう少し時間をくださいますように。

私が話す番の直前のことでした。可愛らしいキリストにおける姉妹が、列に並んでおられました。自己紹介下さり、涙を流しながら、特に「救いの ABC」を私に感謝下さいました。彼女は私に、こんな話をしてくれました。彼女は「救いの ABC」を、本当に困難な時期を過ごしていた大親友に、福音を分かち合うために使われたそうです。深刻な結婚問題を抱えておられ、本当にひどかったそうです。そこで彼女は「救いの ABC」を共有しました。友人は、イエス・キリストの救いにたどり着き、彼女は友人を主に導き、救われたのです。次の日曜日、一緒に教会に行ったそうです。繰り返しますが、彼女は涙を流しながら、どんなふうに新しく救われた友人が、ただ主を賛美し、新生し、キリストにあって救われ、生まれ変わったのかを共有してくれました。程なくしてその友人の夫は、彼女を殺害し自殺しました。彼女がキリストに命を捧げた数日後です。オンラインメンバーのジュディス・レーガンさんの感動的な証で締めくくります。

「あなたに祝福を JD 牧師、2021 年 2 月 6 日、私は最愛の人を失いました。(ほんの数週間前ですね) ショーンは、数年前からずっと、あなたの「預言アップデート」と「聖書の学び」を聞き見ていました。私たち二人は、イエスが迎えに来てくださり、空中で彼に会うのを楽しみにしていました。でもショーンが先に向かいました。私は彼が亡くなるとは思っていませんでした。彼は原因不明の痛みで入退院を繰り返していたのです。ショーンは、大変特別な亡くなり方をしたので、お伝えします。亡くなる日の夕方のこと、彼は病院から帰宅しました。彼はすっかり良くなった感じでした。彼が少しめまいを感じたので、私は立ち上がり、歩いて彼をベッドまで連れて行きました。そして私は自分のベッドに座りました。しばらくするとショーンはベッドに横たわり、頭を枕にのせて、「気分が良くなった」と言いました。私は「あなた、良かったわ。」言いながら彼を見ると、彼の舌が青くなっていました。私は彼を起こそうとしたのですが、起きませんでした。彼のベッドに走り、ゆすりましたが、鼓動がありませんでした。愛する人に心肺蘇生をしながら、必死に電話をかけようと思いました。でも彼は逝ってしまいました。イエスが連れて行かれたのです。ショーンは、あなたのような牧師を通して、イエスについて学ぶことに最後の、少なくとも 3 年間を費やしました。彼はあなたの動画を楽しんでいて、私がいなくても見ていました。何度も何度もあなたの教えを見たり聞いたりして、私は幸せでした。しかし、その恐ろしい日、イエスが私に下さった贈り物はなんというものだったのでしょうか。主は、夫が最期の息で「今は気分が良くなったよ。」と私に言うのを聞かせてくださったのです。彼がその瞬間に、イエスを見ている姿が目に見えます。神はいつも良いお方です。ショーンは、「救いの ABC」が大好きでした。人々が福音を広めておられる話を聞くことや、あなたの聖書の学びが大好きでした。そのため、彼の死亡記事に「救いの ABC」を載せました。彼には、イエスを知らない、イエスを受け入れることを拒否する家族がたくさんいます。神があなたを祝福し、あなたを守られますように。キリストの愛を込めて。 ジュディス・レーガンより」

ご起立ください。皆様のご忍耐に感謝します。賛美チームは上がってきてください。祈りで締めくくります。

ずっと考えているのは、**どの「預言・アップデート」が最後になるのか**ですそれは大げさな話ではありま

せん。そう言うのは、大げさではありません。本当にそうなります。私たちがそれに近づいているのを本当に信じているからです。あなたに切実に願います。城壁の見張り番として、警鐘を鳴らしながら、あなたが主の御名を呼び求めたことがないのなら、あなたの心で信じて、罪の赦しのために、神を信頼されますように。私は、ある意味で懇願しているのかもしれませんが。もう時間がありません。先延ばしにしないでください。永遠のいのちのために、あなたの人生で最も大切な決断を。最後に、主を知り、主を愛し、主と共に歩む私たちのために、これは励ましです。もう長くはかかりませんから。踏ん張るのです。悪化しているのはわかっています。恐ろしくなっています。彼が来られます。まもなく来られます。共に祈りましょう。

天のお父様、ありがとうございます。

主よ、起こる前に何が起こるか私たちを御言葉で教えてください、聖書預言に感謝します。

ですから、それらが起こり始めると、私たちは、どれだけ近づいているのかを知ることが出来るのです。

主よ、あなたを知らない人たちのために祈ります。彼らが今起こっている事を目にし、あなたが御言葉で起こる前にこうなると語ってくださったことを知り、信じることを。彼らが信じ、あなたのみもとへ来て、あなたに委ね、あなたを呼び求め、今日救われることを祈ります。今日です。今日イエスの御名によって祈ります。

アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7